



材木店を訪ね、林業活性化に関する要望を聞く
荒木氏(中央)ら=20日 愛知・東栄町

国産材の利用拡大を

荒木、伊藤氏ら 林業活性化へ調査活動

知部 愛本 党県

公明党愛知県本部(荒木清寛代表)は19、20の両日、林業再生に向けた振興策を探ろうと、東三河

地域で活発に調査活動を展開した。これには、荒木代表のほか、伊藤渉衆院議員、山本保前参院議員の両副代表、渡会克明、小島丈幸両県議、鈴木眞澄新城市議が同行した。

このうち20日の新城市森林組合との懇談では、平田喜好組合長が材木価格の低迷や従事者の高齢化、担い手不足など林業を取り巻く問題点を指摘。森林資源が充実期を迎え、木材の地産地消への理解も進む中で「国産材の利用拡大に向け安定供給の体制づくりが課題だ」と訴えた。

また東栄町で材木店を経営する山本伊六・同町木材製材組合長から、林業活性化への要望を受けた荒木氏は「林業への財政支援拡充に努める」と答えた。この後、奥三河木材協同組合でも関係者と意見交換した。

なお、一行は19日、愛知県森林組合連合会の村松幹彦会長や、HOLZ三河(三河材流通加工センター)、鳳来製材協同組合の両関係者から現状や課題について聞いた。

また東栄町で材木店を経営する山本伊六・同町木材製材組合長から、林業活性化への要望を受けた荒木氏は「林業への財政支援拡充に努める」と答えた。この後、奥三河木材協同組合でも関係者と意見交換した。

なお、一行は19日、愛知県森林組合連合会の村松幹彦会長や、HOLZ三河(三河材流通加工センター)、鳳来製材協同組合の両関係者から現状や課題について聞いた。

なお、一行は19日、愛知県森林組合連合会の村松幹彦会長や、HOLZ三河(三河材流通加工センター)、鳳来製材協同組合の両関係者から現状や課題について聞いた。

なお、一行は19日、愛知県森林組合連合会の村松幹彦会長や、HOLZ三河(三河材流通加工センター)、鳳来製材協同組合の両関係者から現状や課題について聞いた。